

増加する慢性腎臓病(CKD) 生薬・丹参(タンジン)で「人工透析の回避」を

食生活変化が腎臓病増加へ

日本人の食生活の変化から生活習慣病が増加の一途をたどり、これがもとで発症する糖尿病性腎症などの腎臓病が増えて、透析療法を行う人が年々増えています。参考までに現在では透析を受ける患者さんは一年に一人ずつ増えておおよそ三〇万人にも達しています。何とか透析療法に至らずに痛めた腎臓をケアしながら寿命を全うするその手段のために新しい薬が必要とされています。

人工透析の回避がキーワード

腎不全は腎臓の機能が悪化し働かなくなつた状態です。免疫異常が関係していると言われている慢性腎炎をはじめ、糖尿病の合併症として起こる糖尿病性腎症や高血圧が進んで起こる腎硬化症など様々な腎臓病が腎不全の原因となります。

腎不全となる原因はさまざまですが、その中でも現在問題視されているのは透析導入原因の第一位となっている糖尿病性腎症です。以前は原発性の慢性糸球体腎炎がトップを占めていましたが一九九八年から逆転しました。特に二型糖尿病は肥満や

運動不足など生活習慣病がきっかけで起こり、飽食の現代では予備軍も入れると国民の四人に一人がこの病気に関係しているという大変な問題になっています。糖尿病は相当に進行するまで症状がないため、あわてて病院に行つたときには既に合併症が起こっているケースが少なくありません。腎臓もまた我慢強い臓器で全体の九〇%まで障害されてようやく倦怠感やむくみが出てくるという状態ですから、気付いたら透析療法の一手手前という方も多いのです。透析療法は一度始めたら半永久的に続けなければなりません。

医療機関ではなんとかこれを食い止めるようと低タンパク、減塩という厳しい食事療法とこれに並行した薬物療法が行われます。一方、生薬や漢方薬には経験的に腎臓病によく言われて古くから使われているものが沢山あります。中でも丹参(タンジン、シソ科の中国産サルビアの根)という生薬の腎不全に対する効果は他の生薬に抜きんでており、腎臓の機能が劇的に良くなったことが様々な数値から確認されました。特筆すべき点は丹参を服用することでメチルグアニジンという物質の数値が下がったことです。メチルグアニジンは尿毒症毒素のことで、クレアチニンがさらに分解されてできる物質で、腎臓の機能が極度に低下し、体

内に毒素が溜まって全身臓器に症状が出るようになった状態、つまり腎不全の末期症状になると増えてくる物質物質です。腎不全が進行し尿毒症になると薬物治療だけでは回復はまず無理で、人工透析を考えなければなりません。丹参の投与でメチルグアニジンの値が下がったということは人工透析を回避する手段として大変意味のあることだと思われれます。

- ・イスクラ産業「冠元顆粒」
- 四五包入り 六、七〇〇円＋税
- 九〇包入り 一二、六二〇円＋税



「冠元顆粒」についてのご相談、質問は店頭だけでなく、お電話でも受け付けております

「健康的にダイエット！」なら「マイクロダイエット」をお試しください

マイクロダイエット正規取扱店 **ゆがの薬局**

賀茂郡河津町浜149-4 TEL0558-34-0150

当店ウェブサイト <http://www.yugano-ph.co.jp>

